

音楽科学習指導案

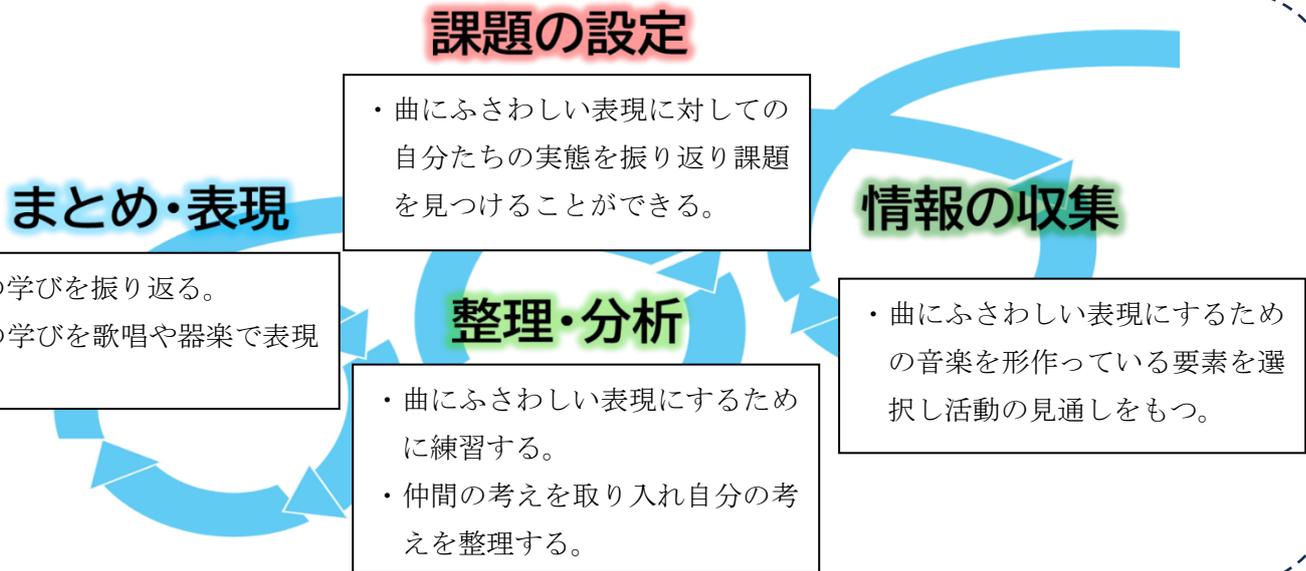
授業場所 第1音楽室
授業学級 2年3組(28名)

1 単元名「自分たちの表現を工夫しよう」

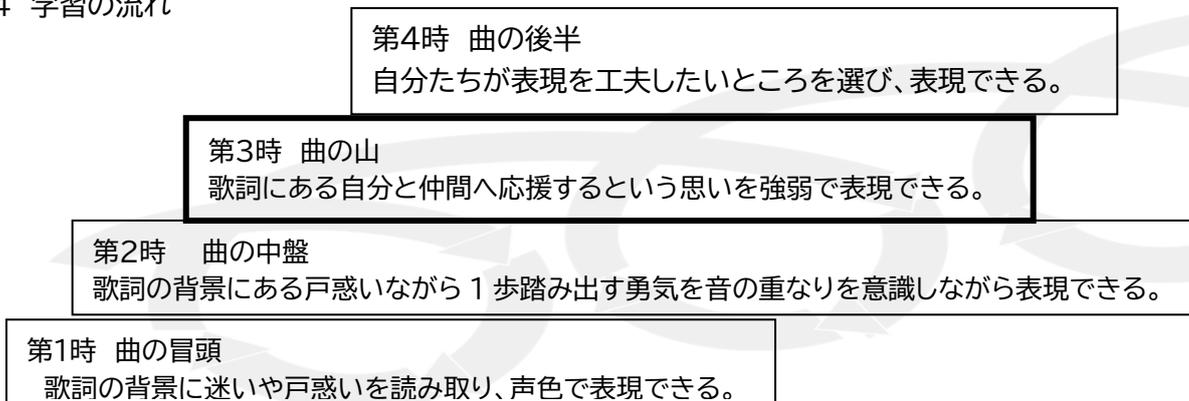
2 音楽科における「自立した学習者」と「生徒の実態」

目指す生徒の姿			
課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
何をどう表現したいのかを目的意識をもつことができる姿	目的意識をもって知覚感受したことを表現するための活動の見通しをもつことができる。	曲にふさわしい表現をするために練習に取り組んだり、仲間の考えを取り入れたりして自分なりの考えを構築する。	曲にふさわしい表現ができるたり、自分の学びを振り返ったりしすることができる。
生徒の実態			
自分ができるようになりたいという意欲はあるが、自分で課題を見つけることに弱さがある。	音楽を形作っている要素と表現したいことの結びつけが弱い。	他者の表現の意図を理解することに難しさがあり、自分の意見を再構築することに弱さがある。	自己の学びを振り返り、自己の成長を実感することができている。

3. 音楽科における「探究的な学びとは」



4 学習の流れ



5 研究との関わり

○研究内容1—(1) 生徒が学習活動の目的を明確にできる指導の工夫

単元の導入で前時の録音を聞いて、曲にふさわしい表現になっているかを確認する。

○研究内容2—(1) 生徒が興味・関心や学習到達度によって学び方を選択しながら学習を進められる工夫

根拠を採る際に様々なヒント(強弱、音の跳躍、重要な歌詞)を提示し、自分が表現するときどこを大事するか、選ぶことができるようにする。

○研究内容2—(2) 合意形成を図ったり、最適解や納得解を見出したりする学習活動の設定

中間交流で生徒の学びを価値づけ、他者の考えを自分たちも取り入れようとする姿を生み出す。

音楽科 学習指導案

公開学級 第2学年 3組 (28人)
場所 南舎4階 2年3組教室

1 単元名

曲の表現を工夫しよう

2 本時のねらい

「曲の山」で自分と仲間を応援する思いを表現するために強弱や声色などを工夫して歌うことができる。

(思考・判断・表現)

3 本時の展開 (3/4)

過程	活動内容	研究に関わる手立て
課題の設定 5分	<p>1 本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜から曲の山で表現したいことを確認する。 ・前時の録音を聴いて、曲にふさわしい表現になっているか確認する。 ○正しい音程で歌えているけど、応援したいという思いは伝わらない。 ○強弱があまりないから、曲の盛り上がりが足りない。 ・本時の課題を見出す。 <p>自分と仲間を応援する思いはどのように表現したらよいだろう。</p>	<p>研究内容1(2) <u>生徒が学習活動の目的を明確にできる指導の工夫</u> 前時の自分たちの合唱が、曲にふさわしい表現になっているかを動画から考え、課題を明確にする。</p> <p>・小グループは各パート2人ずつで編成する。</p>
情報収集 10分	<p>2 曲にふさわしい表現にするために、本時工夫する音楽を形作っている要素を選択する。(小グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○応援するという気持ちを表現するために、強弱がフォルテだから力強く歌う。 ○「エール」という言葉が応援する相手に届くように、アルトが主旋律で歌う前の「僕らを繋ぐ」から少し cresc. する。 <p>3 曲にふさわしい表現にするために練習する。(小グループ) ＜練習方法の選択＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループをパート別に分けて練習する。 ・複数グループ合同で練習する。 ・録画をして試行錯誤する。 	<p>研究内容2(1) <u>生徒が興味・関心や学習到達度によって学び方を選択しながら学習を進められる工夫</u></p> <p>・音楽を構成する要素とその効果(強弱、音の跳躍、重要な歌詞)を提示し、曲にふさわしい表現にするために自分が取り組む要素を選択できるようにする。また、それらをカード化し、楽譜に貼り付ける。</p> <p>考えカード  技カード </p>
整理分析 20分	<p>4 仲間と交流し仲間の考えを取り入れ自分の考えを整理する。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「空へ」の部分でお互いの夢に向かっていくことを表現するために、cresc. をすることにした。 ○曲の題名にある「エール」という言葉を大事にしたい。アルトは主旋律で歌うことができるように強弱を「僕らを繋ぐ」から cresc. をもっと意識して歌っていきたい。 	
まとめ 表現 15分	<p>5 全体交流から、さらに工夫したい部分を見だし練習する。(小グループ)</p> <p>6 本時の学びを表現し、授業の学び方を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱を録画し、曲にふさわしい表現になっているかを確認する。 ・本時の振り返りを行う。 <p>初めは、「エール」という言葉が応援する相手に届くように、アルトが主旋律で歌う前の「僕らを繋ぐ」から少し cresc. と考えていた。仲間と交流することを通してさらに「空へ」の部分をお互いの夢に向かっていくことを表現するために、cresc. の部分を増やして歌うことができた。</p>	<p>研究内容2(2) <u>合意形成を図ったり、最適解や納得解を見出したりする学習活動の設定</u></p> <p>・中間交流で生徒の学びを価値づけることにより他者の意見を取り入れ自分たちも取り入れようとするができるようになる。</p>
		<p>評価規準 <u>曲にふさわしい表現にするために強弱や声色を工夫して歌うことができる。【録画した動画】</u></p>